

アート活動を通して

対象児：5歳児（年長）

作成者：山川可純

作成日：2020,1,29

ねらい：様々な素材を使い自由に表現していく中で、光と影の世界観を楽しむ



保育の振り返り

年長児は1学期に博物館へ行きプラネタリウムを観覧したり、光や影のコーナーで不思議な世界を体験しました。そこで年長児は、松岡先生とのアート活動を通してドームづくり・天の川・モビール制作をしました。ドームづくりでは、段ボールを一から子ども達と形にしていきました。どんな形のドームにしたいか子ども達同士で考え意見を出し合いながらみんなで力を合わせ、クラスで一つの大きなドームを完成させることが出来ました。（健康な心と体）（協同性）（思考力の芽生え）天の川では、プラネタリウムを観覧したことから、星座に興味を持つ姿が見られ大きな紙に穴をあける際にも、星座のように穴をあけていく子ども達もいました。（豊かな感性と表現）光が差し込むと影ができ、キラキラと光る天の川を表現することができました。アート活動を通して、子ども達も始めは、光は電気の光だけだと思っていたようでしたが実際にアートをしていく中で光や影は鏡や太陽の光等様々な物からも見えることがわかりました。また場所や空間が異なると見え方違うことにも気づき光と影の世界を知り楽しむことが出来ました。